



カロナール錠・細粒、およびNSAIDs等の 供給不足について（第2報）

昨今、様々な媒体でニュースとなっております『カロナール』（アセトアミノフェン製剤）について、新型コロナウイルス感染症の影響等により、現在通常の購入が**非常に難しい状況が全国的に続いております**。
現在、先生方にご協力を頂き当院の先月のアセトアミノフェン製剤の処方量は**8割ほどに抑えて頂いておりますが**、院外薬局では供給量が**3割～5割程度**と供給が追いついていない状況です。

また、他のNSAIDsや鎮咳薬、総合感冒剤、呼吸器症状関連の漢方薬についても供給が厳しい状況がでてきています。

つきましては、発熱・咳等の関連薬剤を処方する場合は再度、必要性等についてご確認いただけるようご協力をお願いします。

供給不足対策の例

★残薬確認

普段から頓用で使用している患者様にDO処方をしていると、残薬が自宅に残っている場合があります。**処方する際に残薬確認をして**必要性を判断していただくようご協力ください。

★漫然と使用しない

定期的に効果を確認し、症状の改善や処方の必要性を確認して内服終了することで**漫然と使用をしない**ようにしてください。

★リフィル処方箋の活用

薬剤は少ないながらも継続的に入っている状況ですので、**リフィル処方箋を活用し、複数回に分ける（例：84日分→28日分×3回）**ことで薬局で薬を用意しやすくなります。

また、1回目と2・3回目は違う薬局で調剤する事も可能です。